

製品名: CaMKII α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87133**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:2000-1:20000,FC 1:200-1:1000 |
| 分子量 | Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CaMKII alpha |
| 別名 | CAMKA; MRD53; MRT63; CaMKIIalpha; CaMKIINalpha |
| 遺伝子ID | 815 |
| SwissProt ID | Q9UQM7 |
| 免疫原 | ヒト CaMKII アルファの合成ペプチド |

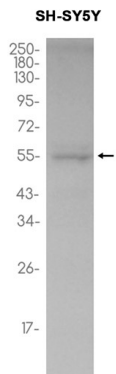
背景

この遺伝子産物は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリー、および $\text{Ca}(2+)$ /カルモジュリン依存性プロテインキナーゼサ

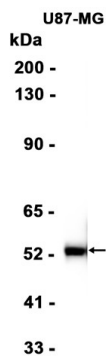
プファミリーに属する。カルシウムシグナル伝達は、グルタミン酸シナプス可塑性のいくつかの側面において極めて重要である。このカルシウムカルモジュリン依存性プロテインキナーゼは、 α 、 β 、 γ 、 δ の4つの異なる鎖から構成される。この遺伝子によってコードされる α 鎖は、海馬の長期増強（LTP）と空間学習に必須である。このタンパク質は、カルシウムカルモジュリン（CaM）依存性活性に加えて、自己リン酸化を受けることでCaM非依存性活性を示す。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2018年6月]

研究分野

画像データ



CaMKII alpha ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、SH-SY5Y 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe87133 を 1:1000 で使用して U-87MG 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。